

会議名	第1回地域活動交付金分科会		公開
日時	令和2年10月28日(水) 午後7時30分～午後9時00分	場所	一鍬田公民館 2階集会室
出席者	(委員) 伊田雅美、前澤賢吉、浅見敏行、犬塚孝好、松山立夫、松井真理、 小林正子、山本いづみ、井上こずえ、太田智亮、建部彰生、 勝木深雪		
	(事務局) 自治振興事務所：松井所長、森下		
欠席者	(委員) 山下誠裕	傍聴者	0名
配布資料	次第、地域活動交付金について、審査会当日の流れについて、地域活動交付金審査基準、地域活動交付金の募集要項等検討資料、地域活動交付金事業募集要項、審査の取り決め事項、地域活動交付金募集案内案、模擬審査用資料、評価の判断の目安		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。
また、今後分科会において分科会長に事故等があった場合、職務を代理する者として井上こずえ氏を指名した。

2 説明

(1) 地域活動交付金について

分科会長から、地域活動交付金の目的、流れ、交付決定までのスケジュール案を説明した。

(2) 審査基準、募集要項について

審査基準、募集要項についての説明は、議事(1)の中で行うこととして省略した。

3 議事

(1) 審査基準、募集要項について

審査基準、募集要項について協議を行い、分科会として以下のとおり意見をまとめ、次回の地域協議会に諮ることとなった。

<主な意見>

審査基準

従来の審査基準に対して、第2条に「やむを得ない事情により公開審査ができない場合には、書類での審査ができるものとする」を加え、第4条に「採択を決定するときには協議の場を設け、決定に条件又は意見を付することができる。」「やむを得ない事情がある場合は、前項の協議を書面で行うことができる。」を加えることとして案をまとめた。

募集要項

- (委員) これまで地域活動交付金を申請してくれた団体へ別途通知するのであれば、地域へは各戸配布ではなく、回覧でいいのではないか。
- (委員) 少額でも活用してくれるなど、申請してくれる団体数が増えることが望ましい。
- (委員) 多くの団体に活用してもらいたいということで、今回も上限額は30万円としてはどうか。

募集要項については、案のとおりとして意見をまとめた。

審査の取決め事項

審査の取決め事項については、案のとおりとして意見をまとめた。

(2) 審査の取決め事項、審査会について

審査基準、募集要項、審査の順番や審査時間など、審査基準に定められていない事項や審査会当日の流れについて協議を行い、以下のとおり意見をまとめた。

審査の取決め事項

審査の取決め事項については、案のとおりとして意見をまとめた。

審査会当日の流れ

- (委員) 公開審査の事業説明については、申請書に書いてあることの説明ではなく、要点を発表してもらいたい。
- (委員) 成果報告の発表については、5分間で行ってもらってはどうか。
- (委員) 申請額10万円未満でプレゼンを省略した団体については、成果報告の発表はなしとして、質疑応答のみ対応してもらおうこととしてはどうか。
- (委員) 団体の成果報告については、成果をまとめた模造紙などを見ていただくことでよいのではないか。
- (委員) 昨年度の審査会にて、事前質問を出したが、質問の内容と合っていない回答があった場合には、再度審査会にて質問してよいか。
- (事務局) はい、構いません。

審査会当日の流れとして、令和2年度地域活動交付金事業成果報告については、5分間での発表とすることとなった。また、申請額10万円未満の団体がプレゼンを省略した場合、成果報告の発表はなしとして、質疑応答のみ対応してもらおうこととなった。

4 その他

・ 模擬審査

事務局が用意した模擬審査用資料及びプレゼンにて審査の流れを確認した。

5 閉会